平成二十七年　新年のごあいさつ

知立市長
林　郁夫

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、さわやかな平成27年の初春をお迎えになられましたことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、知立市は昨年、今後10年間にわたっての中長期の方向性を定めた第六次知立市総合計画を策定いたしました。

安全で安心して暮らすことのできるまちづくり、子ども・子育て支援、知立駅周辺整備事業など、これからも着実に実施してまいります。

とりわけ、市民の皆様方の健康維持・増進については、今後も皆様方と一緒になって取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。

平成15年に知立市では、『健康知立ともだち21計画』を策定しました。以来、生活習慣病予防対策や地域の健康推進員の皆様方を中心とした活動などを積極的に推進してきており、本年からは、新たに健康マイレージ事業も行なってまいります。

また知立市は、愛知県で唯一『生涯学習都市宣言』をしているまちであります。

スポーツ活動、文化芸能活動、ボランティア活動など、自らが積極的にそうした活動をしていただくことで、『健康・仲間・生きがいづくり』に寄与されるものと考えており、その成果も着実に出てきています。

これからも、誰もが、様々な生涯学習活動に気軽に取り組んでいただけるよう更なる環境整備に努めてまいります。

今年、104歳になられます聖路加国際病院名誉院長で文化勲章を受章されています日野原重明氏は、次のようなことを仰っています。

「他人の幸せを考えた瞬間から孤独でなくなる」。

人とのつながりを意識することで、健康で、より充実した毎日を送ることができ、深い幸福感に満たされるものではないかと思います。また、より住み良い地域社会をつくるためにも、人とつながり合う力を強くしていくことが、たいへん重要なことと考えております。

本年も、皆様方にとりまして、より素晴らしい年になりますよう祈念し、併せて、より住み良い知立市のために、更なるご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

知立市議会議長
永田起也

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、さわやかな平成27年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、市議会に対しまして、ご理解とご指導をいただきましたことに心よりお礼を申し上げます。

さて、知立市議会は昨年8月の改選により、20人の定数で実施しております。ご承知のとおり、市議会の役割は、市民の代表として、市民の要望や意見を市政に反映させたり、市政の方向性を決める重要な役割を担っています。

議会の中でも、国会・県議会に比べ、市議会は市民に最も身近な存在であり、地方公共団体の立法府・意思決定機関であります。

地方分権の流れにより、地方議会の役割は重要性が高まっており、多種多様な市民ニーズや主要課題が増えることにより、その責任はより深まっております。しかしながら地方議会の監視の目は厳しさを増しており、不可解な政務活動費の支出や収支報告書の記載漏れなど、いわゆる政治とカネの問題が大きく報道され、全国的に政治の信頼を損ねている状況です。

そうした中でも、私ども知立市議会は、一昨年3月に制定させた議会基本条例のもと「市民に信頼される市議会」を目指しており、幾度と協議を重ねて様々な議会改革に取り組んできました。議会報告会や市民と意見交換会を継続しつつ、政策討論会や出前講座の開催、予算・決算委員会や総合計画特別委員会の導入など、新制度を設けて実行しております。

お陰を持ちまして、知立市議会の改革度は全国でも上位となる評価をいただいておりますが、それらの順位に決しておごることなく、今後とも主要課題や議会運営の総点検を行いながら、議会基本条例に規定した取り組みの実践と、議員間での闊達な議論など、更なる前進をしてまいります。

議員定数3人の削減により、市議会としての機能を低下させることのないよう、相互協力しながら切磋琢磨し、知立市の発展、そして地方自治の最大の目標である市民福祉の向上に向け、鋭意努力をしてまいりますので、今後とも皆様のご支援とご指導をお願い申し上げます。

結びにあたり、本年も市民の皆様にとりまして、すばらしい年でありますことを心よりご祈念申し上げまして、年頭の挨拶といたします。